



「活き活きと輝ける会社へ」よつばが皆さんの会社をサポートします!

目指そう!!

ワーク・ライフ・バランスのすすめ



近年、働く世代の私たちの労働環境は、少子高齢化の影響を受け急速に変化しています。

企業にとって、働き手が減少し、優秀な人材を確保することはますます厳しくなります。また、多くの社員が今後親の介護の問題を抱えることになるでしょう。このような状況を乗り切るために、女性、高齢者、育児・介護を抱える社員など、多様な人材を受け入れ、限られた時間の中で仕事をこなして行かなければなりません。

企業が生き残っていくためには、ワーク・ライフ・バランスに取り組み「柔軟で多様な働き方」ができる職場づくりが必要とされています。

ワーク・ライフ・バランスは、個人・組織全体の働き方を見直すことで、組織のチーム力を強化し、仕事の効率を上げ、生産性の高い組織を作ります。ひとりひとりが仕事の家庭生活との調和を図ることで、仕事への充実度も高まり、その効果が企業にとって新たな競争力を生み出します。企業にとっても、社員にとっても幸せになること、これがワーク・ライフ・バランスです。

仕事と家庭の調和 ワーク・ライフ・バランスとは



ワーク・ライフ「シナジー」(相乗効果)を実現すること!



問題点1. ダラダラ残業が恒常化している。

問題点2. 生活のために好んで残業している社員がいる。

問題点3. ノー残業デーを設定したが、他の日に残業が増えてしまい、効果が出ていない。

問題点4. 残業削減するよう指示したら、自宅に持ち帰って仕事をするようになってしまった。

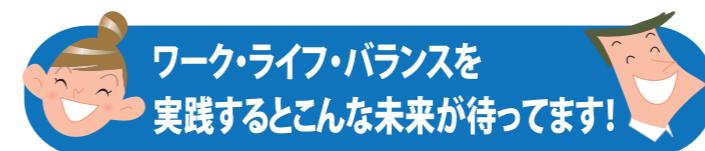
問題点5. 女性社員が子供の都合で急に会社を休むと、仕事が滞ってしまい、業務効率が下がってしまっている。

問題点6. 有給休暇の取得率が偏っている。(取得する人、しない人が顕著である)

問題点7. 親の介護を理由に有能な社員が退職を申しってきた。

問題点8. 社員の定着率が悪い。(入れ替わりが早い)

問題点9. 長時間労働が原因で、メンタルヘルス疾患者が出てしまった。



未来1. 残業が減り、従業員が活き活きと働いている。(仕事の充実度UP)

未来2. 退職者が少なくなり、ベテラン社員が育っている。

未来3. 社員の成長により、業務効率がますます上がり、生産性も上がっている。

未来4. 情報共有、多能効果により、欠員が出ても仕事が回る仕組みができている。

未来5. チームワークがよくなり、助け合いの精神が浸透している。

未来6. 女性の管理職が育っている。

未来7. 社員から新しいアイデアが生まれ売り上げUP!。



よつば事務所サポート

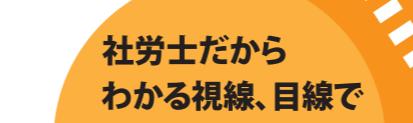


ワーク・ライフ・バランスを実践するには、先ずは、組織全体の意識改革が必要です!!

- ① 経営者の意思表明「トップダウン」
- ② 管理職の意識改革
- ③ 従業員の意識改革



ワーク・ライフ・バランスは100社あれば100通り、自社の実態に即した制度、仕組みを作ることが大切です。



社労士だからわかる視線、目線で初期調査から定着するまでをしっかりサポート!



ワーク・ライフ・バランスは100社あれば100通り、自社の実態に即した制度、仕組みを作ることが大切です。



よつば労務管理事務所は、働くすべての人々とその家族の幸せを追求します。

皆さんのやる気をナリートします。

特定社会保険労務士
永谷律子 ながやりつこ

